

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 326番
- *交読文 …………… 49番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 1番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 500番
- メッセージ …………… エバ - 女 - の成り立ち (創世記 2:18-25)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 102番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行なう教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

そのとき、国々は_____の義を見、すべての王が_____の栄光を見る。_____は、主の口が名づける新しい名で呼ばれよう。

_____は主の手にある輝かしい冠となり、_____の神の手のひらにある王のかぶり物となる。

_____はもう、「見捨てられている。」と言われず、_____の国はもう、「荒れ果てている。」とは言われない。かえって、_____は「わたしの喜びは、彼女にある。」と呼ばれ、_____の国は夫のある国と呼ばれよう。主の喜びが_____にあり、_____の国が夫を得るからである。

若い男が若い女をめとるように、_____を再建する方は_____をめとり、花婿が花嫁を喜ぶように、_____の神は_____を喜ぶ。(イザヤ 62:2-5)

「また主なる神は言われた、「人がひとりであるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう。」主が創られたものは、全て良かったが、一つの事を「良くない」と言われた。それは、人が一人である事だ。そこで主は、彼のために「ふさわしい」「助け手」、すなわち、女を造る事にされた。「ふさわしい(ネグド)」という言葉は、向き合う者、ペアの一方、対応する同等のものを意味する。また、旧約聖書で「助け手(エゼル)」という言葉は、そのほとんどの場合、人を助けて下さる神をあらわす言葉で、その「助け」が無ければどうしようもないような、重要な存在である。つまり女は、男の重要な助け手(エゼル)として造られた。通常、エゼルの言葉が使われる多くの場合、エゼル(助け手)の側が上位であるが、男と女は互いに同等の命であり、互いは助け合い、不足を補いあうものである。『主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない。それは、女が男から出たように、男もまた女から生れたからである。そして、すべてのものは神から出たのである。』(1コリント 11:11-12)

『人にはふさわしい助け手が見つからなかった。そこで主なる神は人を深く眠らせ、眠った時に、そのあばら骨の一つを取って、その所を肉でふさがれた。主なる神は人から取ったあばら骨でひとりの女を造り、人のところへ連れてこられた。』(創世記 2:20-22)

未婚の男女が、ふさわしい助け手を得る条件、それは、深い眠り、すなわち、死を通る必要がある。結婚は人生の墓場だと良く言われるが、それはある意味正しい。独身時代は自分の思うがままに生き、あらゆる異性が、結婚相手になるかもしれない可能性があったが、結婚してからは、そうはいかない。自分に対して死に、伴侶のために、そして新しく生まれるいのちのために生きるものでなければ、結婚生活は成り立たないが、自分に死ぬのであれば、結婚生活において、すぐれた命の喜びを見出す事になる。そういうわけで、結婚のための第一条件は「自分に対して死ぬ」事である。

キリストもいのちを投げ出した事によって、助け主・聖霊が、私達に与えられるようになった。(ヨハネ 16:7)

『そのとき、人は言った。「これこそ、ついに(今や、今度こそ)わたしの骨の骨、／わたしの肉の肉。男から取ったものだから、／これを女と名づけよう。』(創世記 2:23)「これこそ、ついに(今や、今度こそ)」という言葉に、アダムが待ちに待っていたものが与えられ、大喜びしている様を見て取れる。

聖書に記録される人間の言葉は、骨の骨、肉の肉が現れた事を喜ぶ言葉である。アダムは、動物たちに名前をつけて行く際、雄と雌のつがい、産んで増えて行く様を見て、自分もパートナーを持ちたいと思っていた事だろう。そんな彼が、深く眠らされ、自分のあばら骨を元に、同じいのちを共有する「女」が造られ、彼が目覚めた時、その女が、彼の前に立ったのだ。

神は、アダムも含め全生物を全て、土のちりから創られたが、唯一例外がある。それは、女である。女は、男の脇腹の骨を元に、同じ骨、同じ肉、同じいのちとして造られた。それで女は、男の脇腹の所が本来の居るべき場所であり、男も、女を同じいのちを共有するものとして尊敬すべきである。(1ペテロ 3:7)

『それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い(くっついて離れない)、一体(一つ肉)となるのである。』(創 2:34) これは、男と女の結婚の事にとどまらない。夫と妻との関係は、キリストと教会の関係のひな形であり、パウロは、この奥義は偉大である、と言っている。(エペソ 5:32)

そして結婚のための第二条件は、父母の庇護から離れて、一人立ちしている事である。(エペソ 5:31-32) 男も女も、親の庇護から離れなくては、伴侶を苛立たせてしまうように、私達も、キリストの庇護に入っただけには、世という親元からは離れていなければならない。

キリストは第二のアダムであり(1コリント 15:45)、教会はキリストの花嫁、第二のエバである。キリストは、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるために、いのちを投げ出され、激しい苦しみによって生み出された教会を見て満足された(イザヤ 53:11)。そして、花婿が花嫁を喜ぶように、主は教会である私達を喜ばれるのだ。(イザヤ 62:5) 皆さんは、こんなにも愛して下さったキリストに、ふさわしい助け手として、苦しみと喜びを共に受ける生き方をしているだろうか。主人であるイエス様の言うとおりにして、彼に養われる事を望んでいるだろうか。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
 聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

